

育てよう!地域に夢と活力を

第39号  
2026年1月

# 真庭商工会 会報

今号の表紙

『真庭イルミネーションinハート広場』

(北房地区)



## ～真庭イルミネーション in ハート広場～

岡山県真庭市の北房コスモス広場で、毎年12月中旬から2月中旬まで、10万球を超えるLEDイルミネーションのイベントが開催されています。会場は、北房インターより西に500mの位置にあり、ハート型のオブジェなどが設置され、ロマンチックな雰囲気を楽しめます。

※写真は過去の様子です。



### 今号の内容

- P1 【地域のイベントのご紹介】
- P2 【会長年頭挨拶】
- P3 【真庭市長・新庄村長年頭挨拶】
- P4 【青年部報告】
- P5 【女性部報告】
- P6 【工業部会視察研修、GOODLIFEフェア2025報告】
- P7 【商工会マルシェ】
- P8 【税制改正(年収の壁改正)】
- P9 【SDGsパートナー企業紹介】
- P10～11 【事業所紹介まにわの㊦】
- P12 【告知等】



# 新年のご挨拶



真庭商工会  
会長 大月隆行

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和8年の晴れやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は真庭商工会に対しまして多大なご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年（2025年）の世界と日本経済は、米国のトランプ政権による関税引き上げで貿易摩擦が激化し、世界のサプライチェーンが混乱する中で、ウクライナでの戦闘長期化とガザ情勢の緊迫化がエネルギー・食料価格を押し上げ、企業のコスト負担が増加。各国で物価上昇と景気の不安定化が進む中、日本では賃上げとインバウンドにより消費を支える一方、輸出停滞と人口減少が回復を抑える状況になっています。明るい話題としては、55年ぶりに開催された大阪万博が盛況裡に終わり、インバウンド客が消費を支えた点、そして、日本の科学技術の

誇りとなる二人のノーベル賞受賞者が生まれたこと、アメリカの大リーグで日本人選手が大活躍したこと、そして、日本の株価が過去最高値をつけたこと等が挙げられます。又、世界的に地球温暖化の影響とされる異常気象が多発し、日本においては記録的な猛暑が各地を襲い、地元久世地区においても40・3℃の中国地域の最高温度を塗り替える猛暑が記録されました。猛暑の影響でお米や野菜などの食料品が高騰し、家計の負担を大きくするなど、想定外の出来事が次々と起きた一年でした。

中小・小規模事業者においては、継続する人口減少の中、人手不足やそれに伴う業務負担増への対処、働き方改革への取組、人材確保と社員の生活を守るための賃上げ、生産性向上へのDX活用、エネルギー、資材価格の高騰への対処としての売価転嫁への取組等の課題が山積んでいます。真庭商工会では、事業承継、経営発達支援、金融支援、そして、まさに創業塾による新創業の積極的な支援、各種講習会、窓口・巡回個別相談会の開催等、職員が欠員の中ではありませんでしたが、相互に連携し協力しながら伴走型の支援を実施し、又、「まにこいん」の普及など行政との連携で地域振興への対応を

行って参りました。青年部、女性部、工業部会、商業部会や各地区会の活発な活動は勿論ですが、理事及び会員の皆様のご努力と関係各位のご協力、ご支援に厚く感謝する次第です。

戦後80年を迎え、自国優先を主義とする権威主義国の政策は、世界貿易秩序の理念である「公平で開かれた世界経済」の考えと相反する方向に動き始めています。そのような大きな経済環境の変化の中で、日本では初の女性首相の高市新政権がスタートし、「強い経済」「日本再起」をめざし、政府主導の積極財政による好循環経済を実現する政策を掲げています。地方創生や地域の中小・小規模事業者への配慮が行き届いた、きめ細かい政策にも強く期待するところです。

令和8年の干支である丙午（ひのえうま）は、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」年回りだとのことです。

真庭商工会は、本年も、会員事業者に寄り添い、一層個々の事業者の成長発展と地域経済・社会の活性化に貢献できるよう、役職員一同、研鑽努力を積んで参りますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸、そして本年が素晴らしい一年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新会員さん紹介

令和7年5月～12月

（敬称略）

### 北房

コバウツス（小林建太）  
ローソン岡山北房インター店  
（瀬島光一郎）

大井設備（大村圭二）

### 落合

池田建設（池田和広）  
ネクステップ（盛永克徳）  
MITOAK 松本浅香  
（株）ASK  
ちよこっとHOUSE（瀬島須美子）  
仲島工業（仲島浩二）

### 久世

まにわつと電力（株）  
Jino&Kai Farm（森下晃允）  
ホテルルートイン岡山真庭  
柴田祥子（しま企画）  
左子慎二（ハーサロンサコ）

### 勝山

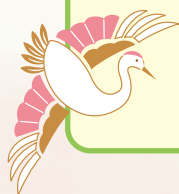
おうちサロンbalm（上原京子）  
真庭トータルコンサルティング（株）  
WAVES（杉原朋子）  
近藤商店（池田仁）

### 湯原

清谷文子（じゅらく食堂）  
新開進（金沢屋真庭・新見店）  
石井香（スナックあかり）

### 蒜山

ちきゅうぎ（岡田堅一朗）  
進賀和幸  
森田裕一  
切明武志（やまな食堂）





真庭市長  
太田 昇

新年明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日頃から本市の商工業をはじめとする産業振興に御尽力され、本市が掲げる「回る経済」の確立に向け、市政各般にわたり深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、真庭市は市制20周年という大きな節目を迎えました。平成17年の合併以



新庄村長  
小倉 博俊

新年あけましておめでとうございます。  
真庭商工会の会員並びに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より真庭地域の経済・産業の振興に大きな役割を果たしておられることに敬意を表しますとともに、村づくりに対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年はコメ価格の高騰が全国的に大きな話題となり、2025年産の新米についても、JAの概算金が昨年比で5割程度上昇し、過去40年で最高値を更新したことが報道されました。うるち米の価格急騰は作付け面積にも影響を与え、もち米の価格にも波及しています。新

来、持続可能な地域社会の実現に向け、歩んできたこの20年の道のりは決して平坦なものではありませんでした。人口減少や少子高齢化、物価高騰、更には度重なる自然災害や感染症の影響など、社会情勢は大きく変化してまいりました。そうした中においても、地域の産業を支え、雇用を守り、地域に活力を生み出してこられたのは、まさに真庭商工会の皆様をはじめ、市内事業者の不断の努力の賜物であります。皆様の地域への思いと行動力こそが、真庭市の力の源であると実感するとともに、改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

現在、日本の人口は約1億2千万人ですが2070年には総人口が9千万人を割り込む予想となっており、少子高齢化の波は収まる気配がありません。ここ真庭市の人口も、2040年には3万2千人台まで落ち込む予  
庄村では令和6年度から一般社団法人新庄村農業公社の指定管理により、ライスセンターを運営し、元出荷・全量買取を目標として事業を推進しておりますが、9月に実施されたヒメノモチ販売検討会議では、新庄村産ヒメノモチの買い取りを昨年比5割超の価格で実施することに決定しました。今後も生産者の所得向上に努めてまいります。

また、新庄村では地域資源活用、農作物の高付加価値化、新規就農者確保などさまざまな観点から、有機農業振興の取り組みについて検討し、地域おこし協力隊制度を活用した「有機農業研修制度」も設けております。研修制度では、一般社団法人農業公社へ籍を置き、実際に農業に携わりながら民間農業学校の講座をオンライン受講し、新庄村での3年後の独立を目指すものです。こうした取り組みを継続的にを行い、農地の保全と農業を入り口とした移住促進を推進していきます。

6次産業化と特産品においては、昨年7月に(株)メルヘン・プラザが製造する「白餅」が第89回ジャパン・フード・セレクションでグランプリを

想ですが、人口減少社会においても市民一人一人が個性と能力を活かし「人口×活動量」によって地域の活力を高め、持続可能な地域づくりを推進してまいります。特に、地域の若者や女性が安心して働き続けられる環境づくりに力を入れ、若い世代が地元で働く魅力を感じられるよう、キャリア教育や、地元企業の魅力発信を進めるとともに、多様な人材が安心して活躍ができるまちを目指すために商工会や関係機関と連携を図ってまいります。

また、昨年、全ての「ひと」が安全で安心して暮らせる「まち」づくり『多彩な真庭の豊かな生活』真庭ライフスタイルの実現を目指す、「第3次真庭市総合計画」を策定しました。推進の柱として「みんなではなく、むす育てのまちの実現」を掲げ、若者が安心して、子供を産み育てることが出来るまちづくりに向けて市が一体となつて取り組んでお

受賞しました。もち米本来の甘みと粘りがしっかり感じられる点や、地産地消、地元新庄村の特産品としてブランド力が高い点などが評価されたものです。また『ひめのもち』に次ぐ特産化を目指す『さるなし』についても、村内栽培団体が新商品開発補助金を活用し、サルナシの若葉を使った「サルナシ茶」を開発いたしました。栄養分析の結果、ミネラル分が豊富に含まれることが分かり、新庄村の豊かな資源をPRできる商品の一つとして期待が高まっております。今後も6次産業化を推進し、新庄村産のブランド力強化にもしっかりと取り組んでまいります。

地域活性化の取組としては、新庄村のいせん桜通りを中心としたランドデザイン推進に着手いたしました。4月に推進委員会を設け、村のメインストリートであるがいせん桜通りを中心とした短期課題・長期課題を委員の皆様と話し合い、まずは景観条例の見直しを進めていくところです。協議をした結果について、年度末に広く村民に対しフィードバックを行い、意見聴取や効果測定などを進めていくこ

ります。真庭商工会の皆様には「こどももみんな」の趣旨に賛同し、真庭の未来を創る子供たちを応援する「こどももみんなサポーター」の一員となつていただいています。今後も地域全体で子ども・子育てに優しいまちづくりを進めてまいりたいと思いますので引き続きサポーターの一員としてよろしくお願ひします。

本年も真庭商工会の皆様との連携を更に深め、現場の声に耳を傾けながら地域の課題に全力で取り組んでまいりますので、今後ともより一層の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、真庭商工会の益々の御繁栄と、皆様方の御健勝をお祈り申し上げますとともに、本年が希望に満ちた実りある一年となりますことを祈念いたしまして新年の御挨拶いたします。

ととしております。

また令和6年9月よりがいせん桜通り内に地域振興の拠点として「商工観光係」の事務所を開設し、商工観光に係る村内5団体と定期的な情報共有・連携を行っております。

ランドデザイン推進を加えて、さらに観光と商工が一体となった、村民一家族の小さな村だからこそできる強みを生かした地域づくりを今後も進めていきたいと考えております。

昨今の物価高騰や人手不足、後継者不足といった経営環境の厳しさは依然として続いておりますが、商工会員の皆様の日々の知恵と挑戦が、雇用の安定と地域の元気の源であると実感しております。貴会には、このように継続した厳しい状況下にあつても、日々地域事業者に寄り添い、支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。今後とも真庭商工会のご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、貴会の更なるご繁栄と皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。